

はじめに

2018年度、本館では、発掘調査報告書の作成、館蔵資料の整理、企画展の開催、発掘調査等を行いました。

発掘調査報告書では、江戸時代に二条家の屋敷地があった地点の調査に基づき、公家である二条家を考古学的見地からまとめ公家の実相を明らかにしました。

企画展は『考古学は地域に勇気を与える―森浩一の考古学2―』をテーマに開催いたしました。森浩一氏関係の企画展示は今回が2回目で、氏が発した『考古学は地域に勇気を与える』という言葉を中心に資料展示を行いました。当館には氏の学術研究資料が数多く寄贈されており、また機会を作ってそれらの展示公開を行いたく思っています。

森浩一氏の学術研究資料の整理を現在も継続的に行っており、今回その成果の一部を関係者の努力によってまとめることができました。ここに深く感謝申し上げます。この館報に掲載しているその他の研究報告もいずれも重要な成果です。

本館の様々な活動は、内外の関係各位・機関のお力添えなくしてできるものではありません。今後とも本館の活動に、ご助力・ご指導を賜りますようお願い申し上げます。

2020年2月20日

同志社大学歴史資料館

館長 新 茂 之